

VOLUME  
3

東北発イノベーションセミナー

I N T O K Y O

# 資源循環・プロセス技術の 最前線

— 共創で生まれる新たなビジネスチャンス —

TOHOKU INNOVATION

2025.12.11 [THU]

13:15-17:15 受付開始  
12:45

会場：砂防会館（シェンバッハ・サボー）1階「利根」

東京都千代田区平河町 2-7-4

東京メトロ永田町駅（有楽町線・半蔵門線・南北線）4番出口徒歩1分

※公共交通機関でお越しください。※ライブ配信は行いません。

## 開催趣旨

「東北発イノベーションセミナー」では、資源循環技術をはじめとする化学プロセス研究部門の研究成果や材料開発の取り組みを中心に、企業の皆さまに役立つ最新情報をオンライン形式でお届けしてまいりました。

第3回となる今回は、初の東京開催として、資源循環・プロセス技術に焦点を当てたリアルセミナーを開催いたします。基調講演では、東北大学大学院工学研究科・北川尚美教授より、実用プロセス技術分野における最先端の研究動向をご紹介します。また、産総研からは、省エネルギーなCO<sub>2</sub>分離回収技術、プラスチックのケミカルリサイクル、溶媒循環システムなど、資源循環に関わる多様な研究成果を講演形式で紹介いたします。さらに、関連技術を紹介するポスター発表も実施し、研究者との直接対話を通じた共創のきっかけとなる場を提供いたします。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

参加無料

二次元バーコードからお申し込み下さい  
[定員150名]

お申し込みは  
こちら



■ 事前申し込み制：締め切り 2025年12月8日(月)23時30分

■ お問い合わせ先（主催者事務局）：国立研究開発法人産業技術総合研究所 東北センター  
東北発イノベーションセミナー事務局 M-tohoku-innosemi-ml@aist.go.jp

# 資源循環・プロセス技術の最前線

— 共創で生まれる新たなビジネスチャンス —

## プログラム

13:15 - 13:20	開会の言葉	東北センター所長代理	相澤崇史
13:20 - 13:25	産総研からの挨拶	材料・化学領域 材料・化学領域連携推進室長	小久保研
13:25 - 13:45	東北センターおよび化学プロセス研究部門の紹介	東北センター所長／化学プロセス研究部門長	山口有朋
13:45 - 14:25	■基調講演「東北大実用プロセス開発・イノベーションセンターの取り組み ～プロセス人材の育成で実用化・量産化の壁を超える～」	東北大学 大学院工学研究科 教授 実用プロセス開発・イノベーションセンター センター長	北川尚美
14:25 - 14:45	■講演「CO <sub>2</sub> 分離素材の開発を加速する JEC <sup>3</sup> M の取り組み」	化学プロセス研究部門 総括研究主幹	牧野貴至
14:45 - 15:05	■講演「縮合系プラスチックのケミカルリサイクル」	サーキュラーテクノロジー実装研究センター プラスチックケミカルリサイクル研究チーム 研究チーム長 化学プロセス研究部門 有機資源変換研究グループ 研究グループ付	日吉範人
15:05 - 15:25	■講演「"溶媒"で変わる－LCA×プロセスシミュレーションで再考する化学プロセス設計」	化学プロセス研究部門 化学システム研究グループ 主任研究員	山木雄大
15:25 - 15:30	講演終了の挨拶	化学プロセス研究部門 副研究部門長	長谷川泰久
15:30 - 15:45	休憩		
15:45 - 17:15	ポスター発表		(敬称略)

## ポスター発表

- 化学プロセス研究部門  
資源循環技術をはじめとする研究事例等を紹介します。
- ナノマテリアル試作・評価プラットフォーム (NEPP)  
ナノレベルまで対応可能な、材料設計・試作・評価を行う装置とその活用事例を紹介します。
- CO<sub>2</sub>分離素材評価センター (JEC<sup>3</sup>M)  
客観的で信頼性の高い、CO<sub>2</sub>分離素材(吸収液・吸着剤・分離膜)の評価サービスについて紹介します。

# TOHOKU INNOVATION